



新宮東中だより

# 学・絆・鍛



令和5年3月1日 NO.11

新宮町立新宮東中学校

校長 藤田 勉

総生徒数436名

1年生	2年生	3年生
143名	148名	145名

## 進学・進級、まとめの時期！

いよいよ3月に入りました。3月は、1年間の総まとめの月です。

1, 2年生の皆さんは、自分の成長の足跡をしっかり見つめ、4月からの新たなスタートに向け準備を整えてほしいと思います。また、3年生の皆さんは、義務教育最後の月となります。10日(金)が卒業証書授与式と、残りの日々もあとわずかですが、最後まで努力を続け、粘り強くやり抜き、有終の美を飾ってほしいと願っています。

「有終の美」とは、「最後に素晴らしい結果を残す」という意味です。中国で最も古い詩集「詩経」の中にある「初め有らざるなし、よく終わりある少なし」という言葉が語源だそうです。「初めは、誰もが計画を立てて一生懸命に頑張るが、それを最後までやり遂げる人は少ない」という意味で、それが転じて、「最後までやり遂げられるのはすばらしいことである」となったそうです。

皆さんには、ぜひ、自分で立てた目標や計画の実現に向けて、「やればのびる」と「粘り強くやり抜く」を続けてほしいと思っています。たとえ、100%の達成はできなくても、諦めずに最後までやろうとする気持ちや努力の過程が、次に何かに取り組むことの力になり、次の目標達成に向かう原動力になると思います。

ぜひ、最後まで、一緒に、成長を続けましょう。

## 3年生、生徒の力で式学習！

卒業証書授与式に向けた3年生の取組が進んでいます。

右の写真は、全員で「礼」を揃えるための説明を、実行委員の皆さんが行っているところです。他にも、「座っている時の姿勢は、『ぐう・ペタ・ピン』です。『ぐう』と力を入れて姿勢を保ち、足の裏はペタッと着けて、背筋はピンと伸ばす』を意識してください。」と、より分かりやすく、揃えやすいように工夫して伝え、気持ちを揃え、行動を揃えることで、「3年生全員で式を創り上げよう」と頑張ってくれていました。



日本語の美しい表現はたくさんありますが、「残り姿」という言葉があります。「終わったあとの姿」「その場からいなくなったあとの姿」を感じるを言います。「その場にいた人々の心が想像できる、気持ちのよい姿」のこととして使われます。

式学習に取り組む3年生の姿からは、この3年間、「しっかりと協力して学校生活を過ごし、そして学習ができていたんだなあ」と感じるができる気持ちのよい「残り姿」を感じる事ができました。

3年生一人一人の、これまで示してくれた毎日の「残り姿」が、学校の「校風」となり「伝統」となります。3年生の皆さんが、式の中で、最後に見せてくれるであろう、美しく立派な姿をととても楽しみにしています。

## 1. 2年生の熱い学級審議！

2月6日(月)、

1, 2年生では、各学級で、生徒総会に向けた学級審議が行われました。どの学級でも、タブレットを上手に使っ



て、各委員会からの提案に対して熱心に質問や意見を出し合っている姿がありました。その姿は、第5代の生徒会スローガン、『『皆華』(かいか)~自他の違いを受け入れあい、皆で咲かせる彩り豊かな個性と笑顔~』の実現を目指すのにふさわしい、立派な姿でした。つくづく、1, 2年生の成長を感じました。

この生徒総会に関する取組で、生徒会の原案にあったように、全校生徒一人一人が生徒会の一員であることの自覚が高まることを期待しています。そして、新たな新宮東中を創って行ってください。

## 3月の主な行事(予定)

3/ 1 (水)	交通安全指導
3 (金)	生徒の時間(ブロックありがとうの会)
7 (火)	公立一般入試(~8日)
10 (金)	卒業証書授与式
14 (火)	生徒総会
15 (水)	チャレンジ! バランス弁当(弁当持参)
24 (金)	修了式
4/ 7 (金)	始業式